

### 資料③

#### リサーチクエッション (RQ) と仮説の対応関係

- ・番号に N がある仮説：新たに作った仮説
- ・○のある仮説：本報告書で検証し、結果を記載する仮説
- ・仮説の結果：採択=仮説が支持された、棄却=仮説が棄却された
  - ・仮説の採否は多変量解析で判断

RQ1：どのような生徒が将来、居住希望があるのか？

1	地元のお祭りに参加している人ほど、長浜市に居住希望がある。	安里	採択
2	自然での遊びが好きな人ほど、長浜市に居住希望がある。	安里	棄却
3	長浜市の企業を知っている人ほど、長浜市に居住希望がある。	安里	○採択
4	家族との仲が良い人ほど、長浜市に居住希望がある。	岡野	棄却
5	アイドルのライブを見る人ほど、都心に住みたいと考える。	岡野	棄却
6	健康状態が良くないと感じている人ほど、長浜市に居住希望がある。	岡野	棄却
N 7	お祭りに参加する人は社会に貢献したいと考える	岡野	○採択
N 8	お祭りに参加する人は長浜市に貢献したいと考える	岡野	○採択
N 9	お祭りに参加する人は将来長浜市に帰ってきたいと考える	岡野	○採択

RQ2：どのような生徒が長浜市への愛着が高いのか？

1	自然好きな人ほど、長浜市への愛着度が高い。	栗田	○採択
2	歴史に興味がある人ほど、長浜市への愛着度が高い。	栗田	○採択

RQ3：部活や勉強、趣味、習い事等から将来の仕事にむけて、地元でそれが実現（継続）できるか？

※想定：自分のやりたいことが地元ではできない。もっと大きな都市等で専門的に学びたい。

1	遊ぶ場所・遊べる人の数や満足度が低い・少ない人ほど、長浜市を出たいと思っている。	宮下	○採択
2	進学意欲がある人ほど、長浜市に自習ができる環境がないと考えている。	宮下	採択

RQ4：どういった場所（設備や周辺環境を含む）を提供すれば、人があつまるか？

1	地域の社会凝集性が高いと評価している人ほど、地域満足度（愛着）が高い。 ※社会的凝集性＝地域の人への信頼感	山下	棄却
2	長浜市の生活利便性・交通利便性に満足している人ほど、地域満足度（愛着）が高い。 ※生活の場＝飲食店やカフェ、服屋、遊び場、学習の場などを含む	山下	○採択

RQ5：学校を卒業した後も引き続き長浜に居続けるには？

1	女性より男性の方が都会に関する関心が高い	坂本	棄却
2	今の段階で大学に進学しようと考えている人ほど、将来都会に移住したいと考えている。	坂本	棄却
3	余暇志向が強い人ほど、長浜市に居住希望がある。 ※余暇志向＝ワークライフバランス	坂口	棄却
4	長浜市の歴史、伝統文化に関する関心がある人ほど、余暇志向が強い。	坂口	棄却
5	三世帯家族のほうが核家族世帯より、長浜市に居住希望がある。	稻葉	棄却
6	長子・一人っ子ほど、長浜市に居住希望がある。	稻葉	棄却
7	親が自営業だと、長浜市に居住希望がある。	稻葉	棄却
8	女子学生ほど、親の地元定住のすすめで、長浜市に居住希望を持つ。	文岡	棄却
9	家庭の経済状況に不安がない人ほど、高校卒業後県外への進学を希望する。	平野	棄却
10	学力が高い人ほど、高校卒業後県外への進学を希望する。	平野	○採択
N1 1	高校から進学したいと考えている男性ほど、将来都会に移住したいと考えている。	坂本	○採択
N1 2	職業観で余暇志向が強い人ほど、長浜市の居住希望が強い	坂口	○棄却
N1 3	三世帯家族においては、親の面倒を見るべきという意識が強い人ほど、長浜市へのUターン希望を持っている	稻葉	○採択

RQ6：どのような人が戻ってくるのか？

→将来における長浜市への居住希望意識、Uターン意識について、上記の稻葉論文、坂口論文、宮下論文、安里論文の仮説が取り扱っている。

RQ7：夢や目標を話しやすい雰囲気や環境であれば、夢や目標を持っているこどもが多いのか？

RQ8：どのような環境のこどもが夢や目標を持っているのか？

1	多様な体験をしている人ほど、夢や目標を持ちやすい。	林	○採択
2	自尊心が高い人ほど、自分の夢を共有できる人がいる。	文岡	棄却
3	自尊心が高い人ほど、将来の夢を持っている。	横江	○採択
4	所有財が少ない人ほど、将来の夢を持っていない。 ※所有財＝家具	横江	採択
5	学年が上の人ほど、将来の夢をもっている。	横江	採択
N 6	親から大学進学を勧められている女性ほど、専門職を希望する。	文岡	○採択

RQ9：将来なりたい職業は？

→中学生は 102 頁、高校生は 114 頁を参照

RQ10：中高生の仕事や就職先に求めるもの、人生における優先度は何か？

→113 頁⑩を参照（高校生のみ。中学生調査では質問していない。）